



草むしりのできる子

今年も、まもなく甲子園を目指した熱い戦いが始まります。(7/11~25: 全国高校野球選手権香川大会)
高校野球といえば、数々の名物監督がいますが、身近なところでは、池田高校(徳島県)の薦文也監督が有名です。甲子園夏春連続優勝を果たすなど、高校野球の歴史に燦然と輝く黄金時代を築き上げた人で、野球の指導よりも人間の育成に重点を置いたその指導は、野球をあまり知らない人にも参考になります。

- ◆ 負けることは不名誉なことではない。負けることによって人間がダメになったり、やる気がなくなるなら、その方が不名誉だ。失敗したらそれを踏み台にしてまた出直せばいい。
- ◆ 勝負は「一瞬の行」、鍛錬は「千日の行」。勝負はアツという間に決着がつく。この一瞬の行を求めて、苦しい鍛錬に耐えることの尊さを身につけよ。
- ◆ 技術だけでは勝てない。精神力がなければ大切な場面で踏ん張ることができない。人生も同じだ。精神を鍛えてないと、勝利の喜びを味わえないまま、一生を終えることになりかねない。
- ◆ 高校時代は、東大や甲子園に行くことよりもっと大事なことがある。この時期は、人間の基礎を作る大事な時期なのだ。だから、勉強一筋に東大に入ったやつは、東大を卒業してから人間の勉強をせないかん。それだけ時間がかかるんや。
- ◆ 「する勇氣」と「しない勇氣」を持て。野球にもルールがあるように、学校や社会にもルールがある。それらを守ったうえで「する勇氣」を大いに発揮せよ。

また、薦監督が書いた本には、次のような文章も載っています。

高校野球のチームは、リーダーさえしっかりしていればある程度のところまでいく。監督がゴチャゴチャ言わなくても、リーダーを中心に、生徒たちが何でも自主的にやるようになる。生徒たちを管理せず、のびのびとやらせるためにも、リーダーの人選は大事だと考えている。

では、そのリーダーをどう選ぶか。それは、草むしりをさせて決めるのである。野球部に入ってくる子なら誰でも野球の練習は熱心にやる。しかし、野球とは直接関係のない草むしりとなると、ガラッと性格が丸だしになってくる。一生懸命草むしりをする子とそうでない子がいる。こういう雑用にも力を入れてやる子は、どんな苦しい練習でも辛抱できる子だ。野球の基本とはつまらないことの積み重ねだが、草むしりにも力を入れる子はやはり野球でもよく伸びる。(中略)

しつけができていない子に野球をやらせても、ロクなことにはならない。勉強だって同じだ。勉強だけでできて、それ以外のことは何一つできない子ははっきり言って鈍感だ。だから、学生時代はよくても、社会に出た時、本人が苦勞する。たとえば、墓参りに行った時、言われなくても進んで草むしりをするような子なら、周囲の人から認められる人間になることは間違いない。

7月12日(日)午前8時から、町内一斉環境美化活動があります(実施日が異なる自治会場合もあります)。これは、詫間町公民館が毎年7月と12月を環境運動月間と定め、環境美化運動を推進しているものです。このような地域活動に積極的に参加できる「草むしりのできる子」であってほしいと思います。

さすが詫間中生!

昨日、臨時の全校集会を行い、交通ルールやマナーを守ることにについて考えてもらいました。

「いのちのせんせいの講演会を通して命の尊さを学習しましたが、命を大切にしたい、命を無駄にしたいと言いつつ、命を大切にしていない行為が見受けられます。交通ルールを守らない行為は、まさに命を粗末にしている行為です。自分の命は自分でしっかりと守りましょう」と呼びかけました。

今朝、登校の様子が昨日までと少し違います。これまで、大下歯科から中学校までの長い直線の道を、2列、3列に広がって通るため、すれ違う人が通りにくそうにしている光景が見られましたが、今日はまっすぐな1列ができあがっていました。きっと交差点での交通マールも守られていたからでしょう。態度や行動が変わったのは、心が変わった証です。

マナー・モラル・ルールをきちんと守る(マ・モ・ル)詫間中生、そして言ったことが素直に聞ける詫間中生、さすがです!

心が変われば態度が変わる
態度が変われば行動が変わる
行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる
人格が変われば運命が変わる
運命が変われば人生が変わる
(※「野村ノート」から引用)